

要件事項	<p><航空／海上業務> キャッシュレス納付導入に伴う納付受託者の口座振替可能化</p>
機能概要	<p><変更前仕様> —</p>
	<p><変更後仕様> キャッシュレス納付導入に伴い以下の変更を行う。 ①キャッシュレス納付用の新規の申告等区分コードを追加し、「資金徴収登録（S I K）」業務にて一括納付用処理を行うよう変更する ②キャッシュレス納付用の申告等区分コードで登録された徴収決定情報に対して、口座引落しを行う新規業務（納付登録業務）を追加する ③納付登録業務により口座引落としが実施された徴税調書番号の一覧を計上する管理資料を追加する</p>

1. 変更内容

(1) 新規業種の追加

(A) 納付受託者用の新規業種の追加

- (a) 納付受託者用の新規業種として「納付受託者」を追加する

(2) 新規テーブルの追加

(A) 納付日程管理用のDBの追加

- (a) 納付日程管理DBを追加し、納付受託者ごとの納付日程を管理する。
(b) 納付日程管理DBで管理する項目は以下の通りとする。

表 1. 納付日程管理DBの項目

項番	項目名	PK	設定内容
1	利用者コード	○	納付受託者の利用者コード
2	適用年月	○	納付日程を適用する年月（YYYYMM）
3	開始日	○	適用年月に該当する納付日程の期間の開始日の日付2桁（DD）
4	終了日	○	適用年月に該当する納付日程の期間の終了日の日付2桁（DD） （※）同一の開始日と終了日になるレコードを登録しないこと

(B) 納付ステータス管理用のテーブル追加

- (a) 納付ステータス管理DBを追加し、納付登録等実施中及びエラー発生状況のステータスを管理する。
(b) 納付ステータス管理DBで管理する項目は以下の通りとする。

表 2. 納付ステータス管理DBの項目

項番	項目名	PK	設定内容
1	利用者コード	○	納付受託者の利用者コード
2	処理状況		0：通常、1：処理中
3	エラー状態		0：正常、1：エラー

(3) オンライン業務の変更

(A) 旅具キャッシュレス納付の徴税登録機能に係る変更

(a) 「資金徴収登録（S I K／S I K 2 0）」業務の変更

(i) 新規の申告等区分コードの追加

キャッシュレス納付用の新規の申告等区分コードとして「5：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」を追加する。

(B) 納付登録業務に係る新規業務の追加及び既存業務の変更

(a) 「納付登録呼出し（R C L）」業務の新規追加

「納付登録（R C L 0 1）」業務に先立ち、納付受託者の全収納未済情報または、納付日程の期間を指定した収納未済情報を呼出しする。

(i) 入力者

納付受託者

(ii) 入力条件

入力項目及び入力条件

項番	項目名	条件
1	利用者	必須入力
2	開始日（納付日程の期間）	任意入力* ¹
3	終了日（納付日程の期間）	任意入力* ¹

(* 1) 開始日が入力され、終了日に入力が無い場合は、開始日に紐づく納付日程管理DBの終了日*³を補完

終了日が入力され、開始日に入力が無い場合は、終了日に紐づく納付日程管理DBの開始日*²を補完

開始日、終了日が入力されている場合は、補完しない

(* 2) 納付日程管理DBの適用年月と開始日を組合わせた8桁の日付

(* 3) 納付日程管理DBの適用年月と終了日を組合わせた8桁の日付

- ①利用者欄の利用者コードが利用者DBに登録されていること
- ②利用者欄の利用者コードと業務実施者が同一であること（自分の利用者コードを入力する）
- ③納付日程の期間の開始日及び終了日が入力されている場合は、納付日程管理DBに登録されている当該利用者の納付日程の開始日*²及び終了日*³（納付日程管理DBの設定の単位）と一致すること

（納付日程の期間の入力は、収納未済情報が存在する納付日程（納付日程管理DBに登録されている納付日程の終了日*³が本業務実施日の前日以前の日付となっているものに限る）が複数存在する場合に、納付日程の期間単位に納付を実施するために必要）

- ④納付日程の期間の開始日及び終了日が入力されている場合は、終了日が本業務実施日の前日以前であること
- ⑤納付日程の期間の開始日及び終了日が入力されていない場合は、収納未済情報が存在する納付日程（納付日程管理DBに登録されている納付日程の終了日*³が本業務実施日の前日以前の日付となっているものに限る）が複数存在しないこと

(iii) 処理内容

- ①利用者欄の利用者コードと一致し、納付日程の期間の終了日が本業務実施日の前日以前の収納未済情報を抽出し、呼出し結果画面に出力する。ただし、納付日程の開始日及び終了日が入力されている場合は、入力された期間における収納未済情報を抽出し、呼出し結果画面に出力する
- ②納付ステータス管理DBのエラー状態が1：エラーの場合は、前回の納付登録がエラーとなった旨のワーニングを処理結果に出力する（ワーニング出力は、前回の納付登録にて口座残高不足等のエラー原因が解消されているかの確認を促すため）
- ③納付日程の期間の開始日及び終了日が入力されていない場合は、収納未済情報が存在する納付日程（納付日程管理DBに登録されている納付日程の終了日*³が本業務実施日の前日以前の日付となっているものに限る）の期間の開始日及び終了日を呼出し結果画面に表示する

(b) 「納付登録（RCL01）」業務の新規追加

「納付登録呼出し（RCL）」業務にて表示された収納未済の情報に対して口座引落としを行う旨を登録し、一括納付書番号及び科目単位に口座引落としを自動起動する旨の登録を行う。

(i) 入力者

納付受託者

(ii) 入力条件

- ①同一利用者による納付登録依頼が処理中でないこと（2重起動不可）
- ②口座番号欄に入力された口座番号が口座DBに存在すること
- ③入力者が口座DBに登録されている口座名義人と同一であるか、または口座名義人に代わる利用可能者として口座利用可能者DBに登録されていること
- ④表示されている税額が0円でないこと
- ⑤表示されている税額が本業務実施時点で再取得（再取得条件はRCLと同様）した税額と一致すること

(iii) 処理内容

- ①指定された収納未済情報について「納付登録（口座振替自動起動）（1RC）」を自動起動する旨を登録する
- ②納付ステータス管理DBの処理状態を1：処理中に更新する
- ③納付ステータス管理DBのエラー状態が1：エラーの場合は、0：正常に更新する

(c) 「納付登録（口座振替自動起動）（1RC）」業務の新規追加

「納付登録（RCL01）」業務にて登録された収納未済情報について、一括納付書番号及び科目単位に口座引落とし処理を行う。

(i) 処理内容

- ①納付番号及び確認番号を払出し、RCL01業務にて登録された収納未済情報に対して、1の一括納付書番号及び科目単位の税額をMPN納付DBに登録する
- ②リアルタイム口座引落とし処理中の旨をシステムに登録する
- ③口座引き落とし要求電文をリアルタイム口座用Webサーバ向けに送信する
- ④RCL01業務で指定された収納未済情報について「納付登録（口座振替自動起動）（1RC）」を自動起動する旨を登録する。
以降、RCL01業務にて指定された収納未済情報について全ての一括納付書番号及び科目の処理が完了するまで継続する

ただし、同一RCL01業務にて既に口座引落としエラー（納付ステータス管理DBのエラー状態が1：エラー）となっている場合は、①から④の処理を行わない。

(d) 「MPN消込（MP2）」業務の変更

(i) SIK業務で申告等区分コードが「5：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」で登録された申告の場合、以下の処理を行うよう変更する。

- ①RCL01業務にて口座引落とし対象となった徴収決定情報に紐づく一括納付書番号及び受入科目が全て処理完了となった場合は、納付ステータス管理DBの処理状態を0：通常に更新する。

(e) 「リアルタイム口座引落とし結果確認（RB1）」業務の変更

(i) SIK業務で申告等区分コードが「5：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」で登録された申告の場合、以下の処理を行うよう変更する。

- ①資金DBに口座引き落としがエラーとなった旨を登録する
- ②RCL01業務実施者に納付登録口座エラー通知情報を出力する。ただし、同一RCL01業務にて既に納付登録口座エラー通知情報が出力済みの場合は、出力しない。
- ③RCL01業務にて口座引落とし対象となった徴収決定情報に紐づく一括納付書番号及び受入科目が全て処理完了となった場合は、納付ステータス管理DBの処理状態を0：通常に更新する。

(C) 納付登録業務に係る照会業務の追加

(a) 「納付登録照会（IRC）」業務の新規追加

「資金徴収登録（SIK/SIK20）」業務で登録された旅具キャッシュレス納付に係る情報について、納付対象一覧、徴税調書番号一覧、一括納付書番号一覧を照会する。各照会情報の用途は、以下を想定する。

<A>照会種別：A（納付対象一覧照会）

納付受託者が納付すべき納税額を納付日程の期間別に確認するために利用する。また、徴税調書番号一覧照会（種別：B）及び一括納付書番号一覧照会（種別：C）の照会に必要な納付日程の開始日及び終了日を確認するために利用する。

照会種別：B（徴税調書番号一覧照会）

納付受託者がRCL業務にて呼出した税額と、納付受託者が把握している税額が異なる場合（日跨ぎ等で調定日＝納付委託日とならない場合等）にシステムに登録されている徴税調書番号ごとの調査決定日及び収納未済額を確認するために利用する。

<C>照会種別：C（一括納付書番号一覧照会）

納付受託者がRCL業務ではなく、マニュアルの納付書にて納付を行う場合に、RZC業務にて入力する税関官署、一括納付書番号、受入科目及び収納未済額を確認するために利用する。

(i) 入力者

納付受託者

(ii) 入力条件

入力項目及び入力条件

項番	項目名	条件	
		照会種別 A	照会種別 B/C
1	利用者	必須入力	必須入力
2	照会種別	必須入力	必須入力
3	税関官署	任意入力	任意入力
4	開始日（納付日程の期間）	任意入力* ⁴	補完後必須入力* ⁴
5	終了日（納付日程の期間）	任意入力* ⁴	補完後必須入力* ⁴

(* 4) 開始日が入力され、終了日に入力が無い場合は、開始日に紐づく納付日程管理DBの終了日*³を補完

終了日が入力され、開始日に入力が無い場合は、終了日に紐づく納付日程管理DBの開始日*²を補完

開始日、終了日が入力されている場合は、補完しない

< A > 照会種別： A（納付対象一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コードが利用者DBに登録されていること
- ②入力者が納付受託者の場合、利用者欄の利用者コードと業務実施者が同一であること
- ③納付日程の期間欄の入力が利用者欄の利用者コードにて納付日程管理DBに登録されている納付日程の期間（納付日程管理DBの設定の単位）と一致すること
- ④利用者欄の利用者コードと一致する徴収決定情報が存在すること
- ⑤税関官署欄が入力された場合は、入力された税関官署と一致する徴収決定情報が存在すること。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署が対象
- ⑥納付日程の期間が入力された場合は、入力された納付日程の期間に該当する徴収決定情報が存在すること
- ⑦照会対象となる徴収決定情報の収納未済額が0円より大きいこと

< B > 照会種別： B（徴税調書番号一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コードが利用者DBに登録されていること
- ②入力者が納付受託者の場合、利用者欄の利用者コードと業務実施者が同一であること
- ③納付日程の期間欄の入力が利用者欄の利用者コードにて納付日程管理DBに登録されている納付日程の期間（納付日程管理DBの設定の単位）と一致すること
- ④利用者欄の利用者コード及び納付日程の期間欄に該当する徴収決定情報が存在すること
- ⑤税関官署欄が入力された場合は、入力された税関官署と一致する徴収決定情報が存在すること。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署が対象

< C > 照会種別： C（一括納付書番号一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コードが利用者DBに登録されていること
- ②入力者が納付受託者の場合、利用者欄の利用者コードと業務実施者が同一であること
- ③納付日程の期間欄の入力が利用者欄の利用者コードにて納付日程管理DBに登録されている納付日程の期間（納付日程管理DBの設定の単位）と一致すること
- ④利用者欄の利用者コード及び納付日程の期間欄に該当する徴収決定情報が存在すること
- ⑤税関官署欄が入力された場合は、入力された税関官署と一致する徴収決定情報が存在すること。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署が対象

(iii) 処理内容

< A > 照会種別： A（納付対象一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コードと一致する全税関官署の徴収決定情報を抽出し、納付日程の期間単位に収納未済額の合計を出力する。ただし、納付日程の期間単位に収納未済額が0円の場合は、当該納付日程の期間は出力しない。
- ②税関官署欄に入力があつた場合は、入力された税関官署コード分のみ出力する。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署を対象とするが、出力単位は、税関官署単位の収納未済額の合計を出力する。
- ③納付日程の期間に入力があつた場合は、入力された納付日程の期間分のみ出力する。
- ④一覧の表示件数は10件とする。11件目以降を照会する場合は、照会情報を再度送信することにより次の10件を照会する

< B > 照会種別： B（徴税調書番号一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コード及び納付日程の期間欄の入力と一致する全税関官署の徴収決定情報を抽出し、照会結果画面に出力する。

- ②税関官署欄に入力があつた場合は、入力された税関官署コード分のみ出力する。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署を対象とする。
 - ③一覧の表示件数は200件とする。201件目以降を照会する場合は、照会情報を再度送信することにより次の200件を照会する。
- 1件の単位は、税関官署、徴税調書番号とし、調査決定日及び収納未済額を出力する。

<C>照会種別：C（一括納付書番号一覧照会）の場合

- ①利用者欄の利用者コード及び納付日程の期間欄の入力と一致する徴収決定情報を抽出し、照会結果画面に出力する。
 - ②税関官署欄に入力があつた場合は、入力された税関官署コード分のみ出力する。ただし、「AL」が入力された場合は、未入力と同様に全税関官署を対象とする。
 - ③一覧の表示件数は200件とする。201件目以降を照会する場合は、照会情報を再度送信することにより次の200件を照会する。
- 1件の単位は、税関官署、一括納付書番号、受入科目とし、収納未済額を出力する。

(D) 納付登録業務の追加に伴う既存業務の変更

(a) 「納付書再出力(RNF)」業務の変更

S I K業務で申告等区分コード「5：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」で登録され払い出された一括納付書番号及び受入科目コード毎に直納にて納付を実施することはないため、当該一括納付書番号にてRNF業務の実施はエラーとするよう変更する。

(4) バッチ業務の変更

(A) 納付登録業務による口座引落としと徴税調書番号の紐づき情報を計上する管理資料の追加

納付登録業務にて口座引落としを行った内訳として徴税調書番号を把握するため以下管理資料を追加する。管理資料名及び出力情報コードは以下の通りとする。

表4. 新規管理資料の名称と出力情報コード

ID	管理資料名	出力情報コード
I13	納付登録口座引落とし実績データ	CBF8300

(a) 業務概要

前日中に納付登録業務にて口座引落としを行い収納済みとなった情報の明細を出力する。

(b) 提供概要

配信周期は日報とし、納付受託者単位に作成し、納付受託者に配信する

(c) 収集対象

以下の条件に合致する情報を収集する。

- ①S I K業務で登録された申告等区分コードが「5：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」である
- ②本税である
- ③前日中に本税完納となっている

(d) 計上

- ①前日中に納付登録業務にて口座引き落としを行い収納済みとなった徴税調書番号を計上する
- ②前日の実績が存在しない場合は、「データ有無識別」に「0」を設定し、その旨を送付する。
- ③計上項目については、CSV電文フォーマット「6N 改変 22-01_キャッシュレス納付導入に伴う納付受託者の口座振替可能化_別紙 02_I13_CSV 電文フォーマット」参照

(e) その他

- ①当該管理資料は、管理資料配信要否DBの設定に関係なく納付受託者に配信する

2. 変更対象業務

<オンライン業務>

【既存業務の変更】

- ・「資金徴収登録(S I K/S I K 2 0)」業務
- ・「MPN消込(MP 2)」業務
- ・「リアルタイム口座引落とし結果確認(RB 1)」業務
- ・「納付書再出力(RNF)」業務

【新規業務の追加】

- ・「納付登録呼出し(RCL)」業務
- ・「納付登録(RCL 0 1)」業務

- ・「納付登録（口座振替自動起動）（１ＲＣ）」業務
- ・「納付登録照会（ＩＲＣ）」業務

<バッチ業務>

【新規バッチ業務の追加】

- ・「納付登録口座引落とし実績データ（Ｉ１３）」

3. 特記事項

(1) 個別項目

- ①ＲＣＬＯ１業務による口座引落としにて、口座不足等の理由により口座引落としが出来なかった場合は、納付登録口座エラー通知情報を確認し、再度ＲＣＬＯ１業務にて口座引落としを行うため、「リアルタイム口座再引落とし依頼（ＲＯＷ）」業務による口座再引落としは実施不可である。
- ②申告等区分コード「５：賦課決定（旅具キャッシュレス納付（口座振替）」で払い出された一括納付書の情報は、「一括納付書一覧照会（ＩＮＦ）」業務での照会は不可であるため、ＩＲＣ業務にて照会を行う必要がある。
- ③ＲＣＬＯ１業務による口座引落としは、税関官署、一括納付書番号、受入科目単位に多数件業務１ＲＣにて口座引落としを行う。そのため、対象となる件数に応じてＲＣＬＯ１業務にて対象となった納付対象が全て口座引落とし完了するまでに時間がかかる可能性がある。
- ④同報宛先ＤＢに業種：納付受託者の追加は行わない。

4. 添付資料

- (1) 6N 改変 22-01_キャッシュレス納付導入に伴う納付受託者の口座振替可能化_別紙 01_画面・帳票サンプル
- (2) 6N 改変 22-01_キャッシュレス納付導入に伴う納付受託者の口座振替可能化_別紙 02_I13_GSV 電文フォーマット

5. リリース予定日／サービス開始予定日

(1) A P、端末資材

- | | |
|------------|--------------------------------------|
| A P（オンライン） | ： 2022年11月20日（日）保守時間帯 |
| A P（バッチ） | ： 2022年11月20日（日）オン中リリース（20：00～21：00） |
| 端末資材 | ： 2022年11月20日（日）04：00 |